

答

収入超過者には明け渡しを喚起する通知書を送り、引き続き入居する場合は割り増し家賃を徴収している。高額所得者には所得に係る通知書の送付と個別面談を行い、状況に変化がなければ明け渡しを求めている。なお、住宅規模と住居状態のミスマッチについては、関係法令に基づいて適切に対応したい。

坪井 剛 議員



- 1 (一般質問) 行方不明者の搜索活動について

- 2 市長就任後一年間を振り返っての思いと今後に向けての抱負について

公約実現に向けた

今後の市政運営は？

問

市長就任後1年間を振り返り将来的な懸念事

項をどのように認識し、人材育成を含め、今後の市政運営をどのように考えているのか。

答

今日の地方自治体は、人口減少や少子高齢化などの社会的課題が急速に進展するとともに、普通交付税の縮減などから、今後も厳しい財政状況が続くものと認識している。将来世代にわたって持続可能な自治体経営を維持していくためには、基金残高の確保と交付税の水準維持は極めて重要であると考えている。

また、地方自治に求められているのは、従来の価値観から脱却し、本市が有する魅力や特性を生かしながら新たな価値の創造に向け、自立した主体性のある自治体経営だと感じている。今後、人口減少社会や厳しい財政状況が予測される中、組織を強固なものとするために、将来につながる人材の育成が最も重要であると考えており、組織機構の見直しを検討しながら、組織力が最大限に発揮できる体制の整備に努めていきたい。

白坂 均 議員



- 1 (一般質問) 米の生産調整について
- 2 地域公共交通の在り方について

米の生産調整

その実効性やいかに？

問

平成30年度から国による米の生産数量の配分が廃止され、生産調整は地域農業再生協議会が担うことになるが、各産地で主体的に需給調整を行っても米の生産が過剰になるおそれがある。国の関与なくして米の生産調整は順守できないのではないか。

答

地域農業再生協議会では、これまでと同様、水田フル活用ビジョンを作成することとなっており、水稲に麦、大豆、飼料用米などを組み合わせた、ビジョンに沿

今後の整備計画は？  
小・中学校などの空調設備

問

快適な教育環境を整備することで子どもたちの健康維持や更なる学力の向上を期待するが、空調設備の整備をどのように計画しているのか。

答

本市では、教育環境の改善に向けた早期の対応が必要と判断し、先行自治体の事例やPFI方式の導入事例などを検討した上で、PFI方式により小・中学校及び公立幼稚園へ空調設備の整備を行う。なお、その財源としては合併特例債を活用し、特例債の発行期限である平成31年度末までに整備を完了させる計画としている。

井上 浩二 議員



(議案質疑)

- 1 地域自治推進事業について

- 2 学校空調設備設置支援業務委託事業について

(一般質問)

- 1 西条市イクボス宣言について

- 2 市職員の労務管理について

※PFI（プライベート・ファイナンス・インシアティブ）とは、公共施設などの設計、建設、維持管理及び運営に、民間の資金とノウハウを活用し、公共サービスの提供を民間主導で行うことで、効率的かつ効果的な公共サービスの提供を図るという考え方